



## フィンランドの教科書で学び合い

1学期のあいだ、国語の授業では、詩をみんなで読み合ってきましたね。その授業の中では、みさんはどんどん想像力をはたらかせながら、みんなと意見交換をしながら、作者の気持ちになったり、詩に出てくる赤ちゃんや草花や動物やいろいろな子供たちになって、詩の世界を読み味わっていました。それはそれで、とても楽しかったですね。

それでも、わたしは、みなさんに『フィンランドの教科書』で学び合っほしいな、と強く思っていました。理由は、授業の中でもお話をしましたが、この教科書を使ってみんなと学び合うことで、これからみなさんが中学生や高校生になったときにとっても大切な力となる、むずかしいことばですが『思考力・判断力・表現力』『コミュニケーション能力』という力がつくからです。もちろん、日本の国語の教科書でもそれはできるのですが、フィンランドの国語教科書の方が、より効果的にできるように作られているからです。

正確にはわかりませんが、日本中で、この教科書を使って国語の勉強をしている子供たちは、たぶんみなさんだけだと思います。週に一度のかぎられた時間の中ですが、しっかりと、みんなで読んだり書いたり話したり聞いたりできるといいですね。そして、いつも「ミクシ？」と「聴き合い」を忘れずに、授業に取り組んでくれることを願っています。

### 『ミクシィ？』って？

これは、フィンランドの学校や家庭で、よく子供たちに向けて発せられる言葉で、英語の「why」にあたるものだなそうです。ある問いに対して、子供たちが何か考えを言ったとき、大事にされるのは、その考えが合っているかどうかではなく、『なぜ君はそう考えたの？』を大事にしている現れなのでしょうね。

### <お願い>

教科書の代金の集金を忘れていました。申し訳ありませんが、まだお払いいただいていない方は、恐れ入りますが、次の金額を、釣り銭のないように封筒に入れてもたせてください。

低学年…2430円

3年生以上…1940円

# 「聴写」と「瞬間スピーチ」

国語の教室がはじまってから、ずっと「聴写（ちょうしゃ）」をしてきましたね。最近さいきんは、どの学年がくねんの人たちも、集中しゆうちゆうして聴き取り、ノートにどんどん文章ぶんしょうを書けるようになってきました。まだ、長い文になると、とまどうことも少なくありませんが、ずいぶん成長せいせいしたと思います。

なぜ、わたしがこの『聴写』にこだわっているかというと、みなさんが、耳から入ってきた音としての言葉ことばをしっかりと頭あたまの中で受け止める力ちからや、その言葉ことばを文字もじに表す言葉あらわに変換へんかんしたりする力ちからをつけられるようになるからなのです。

そして、最近さいきん、中学年ちゅうがくねんと高学年こうがくねんの人たちは、「瞬間スピーチ」をはじめました。これはわたしがかってに名前なまえをつけたゲームです。いきなり目の前に示された「お題」について、30秒とか1分とか、言葉ことばをとぎらせることなく話し続けるゲームです。これは、必要な言葉ことばを頭あたまの中にどんどん呼び出して、その言葉ことばと言葉ことばをつないでいく力ちからをつけるためにおこなっています。

## 「聴写」と「瞬間スピーチ」

どちらも、一般の学校ではあまり行われていません。漢字や算数のドリルがほとんどですが、私は自分が勤務した学校では、先生方に勧めてきました。小学生の子供たちにとっては、漢字を覚えることも大事ですが、もっと重要なスキルが、「音声として聴いたことを、頭の中に納めること、そして、頭の中でどんどん文・文章を構成すること」だと思っています。

## <授業日記から>

フィンランドの教科書で、最初に「。」読みをしました。「本をはやくかえさないとばっ金とろうやに入れられちゃう」というのはいやだと思いました。考えるのがちょっとむずかしかったかなと思いました。・・・3年生 レイちゃん  
今日は、岡野先生が考えた問題をみんなではなしあったら、いろいろないけんが出て、よかった。（話し合いの中で）みくちゃんが言った「いろいろなちしきをつけさせたかった」をきいて、なっとくしました。・・・3年生 けんちゃん



中学年と高学年の人たちは、今度から宿題として俳句を二つずつ作ってやることになりました。とても楽しみです。作ってきた俳句は、かべにはっていきましょう。